

「セ用」新釣り銭機発売

コモタ(東京都港区)は、セルフS用の釣り銭精算機「エガオン・サット」を発売した。現行機「エガオン・マッチ」との並売になるが、エガオン・マッチ対比で横幅を二三%スリム化したことでセルフスペースの有効活用を可能にした。スリム化により硬貨の収納枚数は減少したが、エガオン・マッチでオーダー・給油・精算時に精算機と計量機の間を往復していた手間が不要になり、給油客の利便性が大きく向上した。エガオン・サットは新日石系セルフで先行導入が始まっている。

横幅23%縮小しスリム化

コモタ

S/S向けの自動釣り銭機・精算機で初めて二台を背中合わせにした両面タイプとして平成十五年に登場したが、同社のPOSリプレイス(買い



新日石系セルフに導入されたエガオン・サット

計量機 利便性アップ 横付けで

新旧エガオン比較表

| | エガオン・サット | エガオン・マッチ |
|--------------|--|--|
| セルフ方式 | アイランド精算 | |
| 支払方式 | 現金・クレジットカード・プリペイドカード・各種電子マネー等全ての支払方法に対応可能。 | |
| セルフ端末との組み合わせ | 業界標準POSのセルフ端末は、計量機に内蔵し「エガオン・サット」の隣に設置 | 「エガオン・マッチ」の筐体内に業界標準POSのセルフ端末を組み込んだ一体構造 |
| 計量機との設置位置 | 計量機の真横に設置可能。空間は不要 | 計量機との間に80cm以上の空間が必要 |
| 寸法 | 幅590×奥行650×高さ1,690mm (高さは、80mmのスペース取付時) | 幅770×奥行650×高さ1,585mm (屋根装着時:800×900×1,635mm) |
| 硬貨部 | 取扱金種 | 1円、5円、10円、50円、100円、500円(全金種リサイクル) |
| | 収納容量 | 1円:500枚、5円:500枚、10円:500枚 50円:500枚、100円:500枚、500円:300枚 |
| 紙幣部 | 取扱金種 | 1,000円、2,000円、5,000円、10,000円(1,000円、5,000円リサイクル) |
| | 収納容量 | 1,000円:800枚、5,000円:220枚、2,000円+10,000円:350枚 |

替え、時もエガオン・マッチは継続使用が可能な長寿命も思の長いヒット商品となった要因といえる。

エガオン・サットは頑丈で長寿命というエガオン・マッチのセールスポイントを継承しながら、スリム化による利便性向上と高い画面対応を実現させた。

画面対応では計量機の型式確認を行い、各計量機のペーパーバリアの高さに合わせた四種類の製

品をラインアップした。これにより計量機との一体感を演出でき、動画放映時の注目度も高まる。給油客の操作動線もスムーズだ。

新製品はエガオン・マッチとの比較で紙幣容量は据え置いたものの、硬貨容量は半分程度に減らした(別表参照)。それでも計量機内蔵釣り銭機とくらべると大容量で、ガソリン月販ボリューム六百~八百送のセルフならば一日一回の釣り銭補充で十分だ。

これまで同社ユーザーはセルフ化の際に、BNA(紙幣読み取り装置)プラス精算機方式にするか、エガオン・マッチを使ったアイランド精算方式にするか二者択一だったが、エガオン・サットの登場により「計量機内蔵操作盤プラスエガオン・サット」の新しい精算方式が加わった。

エガオン・サットは「計量機に横付け」が特徴だが、「電子機器類は計量機から六十センチ離す」という消防法に違反するのではとの危惧がある。

この点について同社は「電子機器類をボックスの上部に集中させることで消防法抵触をクリアした」と説明する。

エガオン・サットの導

入一号機は埼玉県内の新日石系セルフで、現在、山口と岡山を加えた三カ所で稼働中。すべて新日石系で、今後はJ.A、E.M、キグナス、三井系セルフでの導入に同社は高い期待を寄せる。